



令和元年度

大曲商工会議所青年部

会長 木村 勝幸

華やいだ街の風景。たくさんの店が立ち並び、デパートや映画館などもあります。路上では多くの人や車が行きかい、軽快な音楽と人々の笑顔があふれて活気に満ちています。私の頭の片隅に記憶されている、30数年前の大曲の情景です。時代とともに我々の生活は、より便利に安全に効率化され、シンプルで機能的なものになりま

した。先人たちの知恵と努力により、現在の快適な生活環境があることは言うまでもありませんし、もしかしたら、自分自身でもあの頃に思い描いていた未来空間なのかもしれません。

昨年の夏の終わり、汗と涙に彩られ、たくさんの人々の情熱で輝いた「第37回 日本商工会議所青年部 東北ブロック大会 秋田 おおまがり大会」での花火を見ました。感動と安堵感とともに、開催準備に奔走したその日までの記憶が脳裏をかすめ、生涯忘れ得ないであろうと思えるほどの衝撃を受けたことを覚えています。それと同時に、ふと、懐かしい匂いがしました。沢山の人が集まり、汗水流して協力し合い、人々の笑顔があふれた瞬間、あの頃の活気に満ちていた大曲がよみがえったような気がしたのです。ボタン一つ

でコミュニケーションも買い物もでき、快適な生活環境も得られる便利さに慣れてきて、知らず知らずのうちに無機質になりつつある自分自身のライフスタイルに閃光が走りました。



2019年度「The future starts today（未来は今日始まる）」を大曲 YEG スローガンとしてスタートします。あの花火に見え隠れした会員の努力と情熱を素晴らしい経験として大曲 YEG の新たな活動基盤にできるよう、そしてまた、人と人との心が通い合い活気に満ちたあの日を凌駕する地域空間を創出することを念頭にこのスローガンのもと活動してまいります。

事業形態といたしましては、総合的に事業を通じて得たものをそれぞれの会員企業への落とし込みを視野に入れ、それぞれの会員が企業人として活動する意義を明確に感じることができると取り組みを行います。

大きなテーマとしては3つあります。

1つ目は、『**地域商工業の活性化**』  
会員企業間の事業連携や情報交換ができる機会をより一層高め、延いては地域での事業活動の活性化につなげられるよう活動してまいります。

2つ目は、『**ホスピタリティーの充実**』

大曲の花火に代表される継続事業への参画により、ホスピタリティーを充実させ、皆様に喜んでいただける街、選んでいただける企業、安心・信頼のおける人材にそれぞれがよりステップアップできるように努めてまいります。

3つ目は、『**ネットワークの拡充**』  
他単会、外部団体をはじめとした地域内外とのネットワーク拡充を図り、より多角的なビジョンで幅広い活動と、会員拡大を図り地

域により深く根を張れる活動を行ってまいります。

今一度ここに結集したパワーを地域、企業、そしてY E Gの活動として、活気あふれるものにするよう、今までに経験したことを次世代へと繋げるよう、今日から始まる未来のために活動することをここに誓い2019年度の所信といたします。



令和元年度

東北ブロック

商工会議所青年部連合会

会長 伊藤 洋平

平成が終わり、新たな元号『令和』のもとに日本は新しい時代を迎えました。このような節目に東北ブロック商工会議所青年部連合会（以下東北ブロックY E G）会長を務めさせていただく機会を得て光栄に感じると共に、東北ブロック45単会、3800名を越える会員を代表する責任を実感しております。

平成の30年間は、政治経済的には停滞感を感じながらも比較的に安定した時代でありました。

一方、私たちが忘れてはならない東日本大震災を機に、東北の未

来について多様な課題が顕在化した時代でした。震災からの復興が未だ道半ばの中、人口減少・高齢化の問題は東北6県共通しており、2040年には東北の大多数の自治体が消滅するといわれます。さらに政治経済の局地集中が進み、東北の経済規模も縮小を避けられない状況です。

しかし、そのような中でも東北で暮らし、事業を行う私たちY E Gは東北の可能性を信じ、未来を描きながら前へ進もうとしています。地域社会を愛し、その持続と発展を使命として、次世代へつなぐ熱い想いを共有しています。これから始まる令和の時代に、私たちY E Gは情熱と気概を持って次世代のために新しい東北を創り上げるべく進んでいかなければなりません。

東北には雄大な自然、あざやかな四季、バラエティ豊かで美味しい食材と食文化、ホスピタリティにあふれ、勤勉な人々、治安の良さ等々、誇れるものがたくさんあります。東北地方は日本の国土の約20%を占め、人口は880万人、域内総生産額は約34兆円で

す。これを世界比較すると面積は120位程度ですが、人口はオーストリアと同程度（94位）、域内総生産額はマレーシア等と同程度で世界40位ほどに匹敵します。こうした視点で見ると東北のポテンシャルは高く、新しい価値観や発想による発展の可能性がまだまだあると思います。

本年度東北ブロックY E Gスローガンは、

『NO BORDER 東北』

『新たな時代！Y E Gの情熱と連帯が東北の可能性を未来へ広げるといたしました。』

BORDERという言葉には国境や境界という意味があります。東北ブロックY E Gの活動が単会、県連のBORDER（境）を越えてつながる事でさらに活性化し、3800人を越える会員の交流が促進され、東北の未来へ向かう新たなうねりを創り出していく。東北ブロックY E Gが一体となる事でボーダーレスな力が生まれ、それぞれの地域の問題を解決し、自分たち、そして次世代のために東

北の未来を拓いていく。そのような事業を展開していきたいと思えます。これから始まる新しい時代に、東北を希望と可能性にあふれた地域にするためにがんばってまいりますので、1年間どうぞよろしくお願いいたします。



- 5月11日（土） 大曲の花火「春の章」
- 5月18日（土） 春の会長会議①大曲
- 5月25日（土） 商工会議所まつり
- 6月1日（土）～2日（日） 第60回商工会議所 野球大会
- 6月 さなぶり酒花火
- 7月 若手後継者等育成事業講習会
- 7月 大曲の花火啓蒙活動事業
- 7月 「花火の仕事人」
- 8月29日（木）～31日（土） 花火ウィーク運営支援
- 8月31日（土） 第92回全国花火競技大会 「大曲の花火」

毎週月曜日22時～22時30分  
 （再放送：土曜日20時）  
 大曲コミュニティFM「FMはなび」  
 大曲 YEG Presents  
 「YEGはLIVE（生）が好き」  
 絶賛放送中！



始まりました新しい時代「令和」。  
 木村勝幸会長率いる大曲YEG「木村丸」も無事船出し、1年間のYEG活動に入ったわけです。今年東北ブロックの舵を取るのが当YEGの伊藤洋平君というのも特筆すべき点ですね、2隻の巨大戦艦が大曲・東北を舞台に八面六臂の活躍を出来ることを期待し・・・いやさ、間違いなく大活躍し、そして明るい豊かな未来に

繋がっていくことを信じて疑いません！令和元年第一号の奔流ですが、こんな感じで今年も大曲YEGや県連・ブロック等の話題を発信していきたいと思っておりますのでどうぞ一年間よろしくお願い申し上げます（広報委員長）

